

小学校第6学年社会科学習指導案

日時 平成24年11月22日(木)

指導者 6年担任 教諭 恒松 龍治

- 1 単元名 わたしたちの暮らしと政治「政治って、何だろう」
(日本文教出版6年下 p4～p19)

2 単元について

(1) ねらいについて

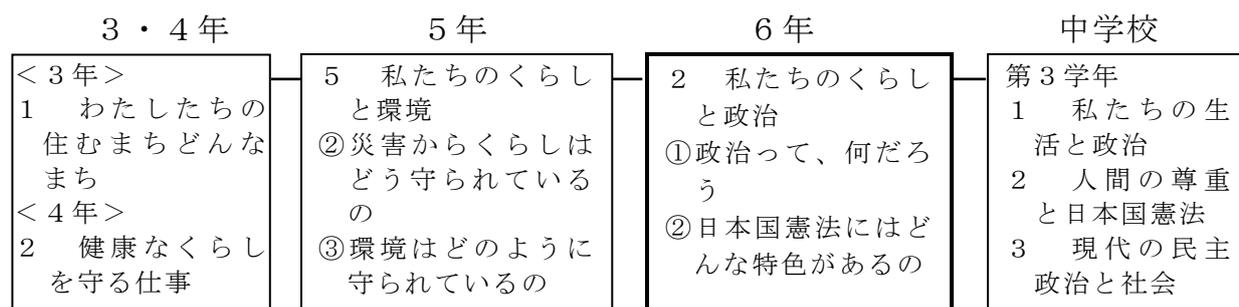
本単元は、学習指導要領の内容(2)「我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」の(ア)「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」を受けて設定されている。

本単元の学習においては、地方公共団体と国の政治が国民生活と結びついていることを実感できるようにすることが大切である。その上で、政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることに気付かせることで、考えを深めることができることを考える。

本単元では、村内にある福祉施設の建設の事例を柱にして、児童の主体的な学習が展開されるよう単元を構成した。福祉施設(山江村福祉保健センター「健康の駅」)は、高齢化が進む山江村住民からの強い願いで平成18年に建設された福祉施設である。児童が実際に利用した体験から感じることを話し合わせたり、利用者の聞き取り調査、施設で働く人への聞き取り調査により、村民の願いや利用の様子について話し合わせたりすることで、住民の願いをかなえる政治の働きに目を向けていくようにする。さらに、国民生活と国の政治のつながりとして、租税の役割、国会などの議会政治や選挙の意味、国会・内閣・裁判所のそれぞれの働き、国民の司法参加、三権相互の関連について学習する。

また、山江村では、高齢化社会による独居老人の増加とともに、自然災害による孤立化といった大きな課題も抱えている。前半に学習した見方・考え方を活用して、後半では、こうした自分の身の回りの公共的な事象に対して「提案書」を作成することで、考えを論述する活動を取り入れ、児童の公共的な事柄へ参画しようとする意欲や自分の考えを論理的に述べる力を高めることが期待できる。

(2) 系統について



(2) 「我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。」

(ア) 「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」

(3) 児童の実態について

※ 省略

(4) 指導にあたって

- 村内にある福祉施設（健康の駅）を取り上げ、事前に体験学習を行うことで興味・関心を高めるとともに、福祉施設の利用者の声や施設で働く人の声を聞き取り調査し提示することで、課題意識をもたせ主体的に調べる活動につなげていきたい。
- 調べて考えたことを出し合い共有しながら自分の考えを練り上げていくために、各時間に伝え合い学び合いのグループ学習を設定し、協働して追究していく活動を取り入れる。
- 自分の考えと他の考えを比較したり関連させたりしながら聴き合い、「なぜ」や「でも」のキーワードで相手の考えに「つなげ」て発言し、考えを共有していくようにする。
- 単元の終末に、山江村が抱える他の事象に対する願いを実現するための「提案書づくり」をする言語活動を設定し政治に参加する一人としての自分を意識させることで、単元を通して児童が主体的に学び表現していけるようにする。
- 伝え合い学び合いの中で児童から出た内容（考え）を板書し、記録していくことで、客観的な評価につなげていく。
- 自己評価を行い、学習を振り返る時間を設けることにより、児童一人一人の社会的な思考力・判断力・表現力の深まりといった学習状況をつかむことができるようにする。また、その状況により、支援が必要な児童に対しては個別に対応し適切な支援を行うようにする。

ICT活用のポイント

①教師の活用ポイント

- ・導入時には、地図帳の見方・使い方といった基礎的・基本的内容を本時の学習と関連させながらスキルの身に付けることができるように、デジタル地図帳を活用する。
- ・学習問題に対する予想を考える場面では、グラフや写真資料を電子黒板やタブレットPCで提示し、児童が資料を関連させながら学び合うことができるようにする。

②児童の活用ポイント

- ・考えを全体で練り上げる場面では、実物投影機で学習シートを映し出して、児童が「考えを共有」しながら、学びを広げ・深めることができるようにする。

3 単元の目標

人々の願いを実現する地方公共団体の働きや国の支援、国の政治の働き、国会・内閣・裁判所の働きと三権分立について、調査したり資料を活用したりして、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えるようにする。

4 単元の評価規準

| 社会的事象への関心・意欲・態度 | 社会的な思考・判断・表現 | 観察・資料活用の技能 | 社会的事象についての知識・理解 |
|---|---|--|--|
| 国民生活の安定と向上を図るための政治の働きに関心をもったこと、追及し、調べたことをもとに、日常生活における政治の働きへの関心を深めている。 | 政治はどのような働きをしているのか、学習問題をつかみ、調べたことをもとに、政治は人々の願いをもとに行われていることをとらえ、適切な言葉で表現している。 | 次のことについて、必要な情報を集め、まとめている。 ・地方公共団体や国の政治の働き ・国会・内閣・裁判所と三権分立 ・国民の司法参加、租税 | 地方の政治も国の政治も人々の願いをもとに進められていること、国の政治は、国会・内閣・裁判所の三権分立を基本として行われていることを理解している。 |

5 単元の指導計画及び評価基準（12時間取扱い：+αは総学）

| 時 | 学習活動 | 指導上の留意事項 | 関 | 思 | 技 | 知 | 評価基準・評価方法 |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|--|
| 1 | 山江村の人口割合や住民の願い、福祉施設の利用の様子について関心を持ち、調査活動の計画を立てる。 | 山江村の高齢化の実態、それに伴う住民の声、福祉施設の利用の様子について話し合い、関係する人たちへの調査活動の計画を立てる。 | ◎ | ○ | | | 山江村の福祉について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 【観察・ノート】 |
| 2 + α | 福祉施設の見学とともに調査活動を行い、そこで抱いた疑問から学習問題づくりを行う。 | 福祉施設（「健康の駅」）の見学活動や聞き取り調査を行う中で出てきた疑問を学習問題へとつなげていくようにする。 | ◎ | ○ | | | 山江村の課題を見つめ、願いの実現に向けて抱いた疑問を学習問題として捉えようとしている。 【観察・ノート】 |
| 住民の願いは、誰がどのようにして実現していくのだろうか。 | | | | | | | |
| 3 | 公共施設の建設と政治の働きについての関係性を予想図に表し、調べる計画を立てる。 | 住民の願いによる公共施設の建設は、誰がどのようにして実現していったのかを予想して関係図に表し、その予想をもとに調べる計画を立てる。 | ○ | ◎ | | | 政治の働きについてこれまでの経験をもとに予想し、調べる計画を立てることができる。 【ノート】 |
| 4 | 役所（山江村役場）で働く人への聞き取り調査を行い、村民の願いがどのようにして実現していったのか調べる。 | 役所の方にG Tとして来校してもらい、村民の福祉に対する願いが実現するまでの流れを聞き取り調査しながら、具体的な例をもとに調べる。 | | | ◎ | ○ | 聞き取り調査を行い、地方公共団体の政治のしくみと願いが実現するまでの流れについて情報を集めている。 【ノート】 |

| | | | | | | | |
|--------|-----------------------------------|--|--|--|---|---|--|
| 5 | 福祉施設の建設と運営するための費用について、税金の働きを調べる。 | 役所の方に聞いた建設するための費用の内訳を提示し、税金のしくみについて調べるとともに、その役割について考えるようにする。 | | | ◎ | ○ | 資料等による調査をもとに、国民生活と政治とのつながりを「税金」からとらえ調べている。 【ノート】 |
| 6 + | 村議会場を見学し、議会の仕組みについて調べる。 | 山江村の議会場を見学するとともに、議会ではどのような取り組みを行っているのか調べるようにする。 | | | ◎ | ○ | 見学活動と聞き取り調査により、国民生活と政治のつながりを「議会」「選挙」からとらえ調べている。【ノート】 |
| 7 | 県議会や国の関わり（国会の働き）について調べる。 | 福祉施設の建設に国の予算も使われていることに気づかせ、村議会のしくみと結び付けながら、国会の働きについて調べるようにする。 | | | ◎ | ○ | 村議会のしくみと結び付けながら、県議会や国会の働きについて調べている。【ノート】 |
| 8 | 国の大事な予算を決めるしくみ（内閣・裁判所の働き）について調べる。 | 国の大事な予算を決めるためには、国会・内閣・裁判所が互いの機能を働かせながら、慎重に決めている三権分立のしくみについて調べられるようにする。 | | | ◎ | ○ | 内閣と裁判所の働きについて調べるとともに、日本の三権分立のしくみについて調べている。【ノート】 |
| 9 | 公共施設の建設と政治の働きについて関係図でまとめる。 | 前時までに追究してきたことを関係図にまとめるとともに、第3時の「見通す」で予想を立てた関係図と比べながら、自分の調べ活動を振り返らせる。 | | | ◎ | ○ | 調べてきた内容を統合させて考え、政治の働きについて関係図にまとめることができています。【ノート】 |

| | | | | | | | |
|------------------------------|--------------------------------------|---|---|---|---|--|--|
| 10 | 自分の身の回りの公共的な事象について考える。 | 山江村が抱える自然災害と独居老人への支援という課題を取り上げ、福祉に対する願いを実現していった政治の働きについての見方・考え方にゆさぶりをかけて考えるようにする。 | ○ | ◎ | | | これまで獲得した見方・考え方をもとに、自然災害と福祉の課題である新しい事象について意欲的に考えている。【ノート】 |
| 土砂災害で一人暮らしの老人が危ない！あなたならどうする？ | | | | | | | |
| 11 | 提案書を作成する。 | 前時の課題を解決するためにどのように政治が解決していけばいいかを考えさせ、提案書にまとめるようにする。 | | ◎ | ○ | | 作品づくりを通して自分の考えを表現している。【作品】 |
| 12 | 作成した提案書をもとに自分の考えを伝え合いながら、よりよい提案を考える。 | 自分の作成した提案を協働で伝え合い・学び合いながら、よりよい提案を考え、山江村に提言していただけるようにする。 | ○ | ◎ | | | お互いの考えを比較検討しながら自分の考えを修正し、表現している。【作品】 |

6 本時の展開

- (1) 目標 住民の願いが実現されるまでのしくみについて、これまでの経験を生かして予想することができる。

(2) 展開

| 過程 | 学習活動、主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C) | 指導上の留意点・評価 | 備考 ICT 活用 |
|-----------|--|--|---|
| 導入 5分 | <p>1 前時の学習内容を振り返る。 (T)この学習は山江村が抱えるどんな問題点から始まりましたか。 (C)人口ピラミッドに見られたように少子高齢化から考えてきました。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 住民の願いが実現するまでのしくみについて考えよう。</p> | <p>○前時までの聞き取り調査の学習を振り返るとともに住民の意識調査の結果を提示し、住民の願いをとらえさせる。</p> <p>○山江村の「健康の駅」は住民の願いが実現してできた施設であることを確認し、課題意識を高める。</p> | 電子黒板 |
| 展開 35分 | <p>2 実現するまでのしくみについて、考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民の願いは、どうやって実現されるのかな？</p> <p>(1)施設建設費用の内訳から、関わりのある機関をおさえる。 (T)考えるときには建設費用を示すこのグラフから考えてみましょう。</p> <p>(2)自分の考えを図解表現などを使って分かりやすくノートに書く。 (T)願いが実現していくまでの流れを予想して書く場合は、図解表現を使って、相手に分かりやすく伝えるように書きましょう。</p> <p>3 予想を学び合いで考える。 (1) グループで話し合う。 (2) 全体 (一斉) で話し合う。</p> <p style="border: 1px dotted black; padding: 5px;">【言語活動】(話し合い活動) 願いが実現するまでのしくみを予想し、考えを伝え合いながら、自分の考えを広げ・深めていく。</p> | <p>○前時に児童から出された課題を問いかけ、意欲的に考えることができるようにする。</p> <p>徹底指導 (ポイント) ○住民の願いで建設された「健康の駅」の建設にかかった費用の内訳を示したグラフを提示し、実現するまでに関わっている機関をキーワードでおさえさせる。</p> <p>能動型学習 (ポイント) ○これまでの生活経験・学習経験や、建設費用の内訳などの資料から自分の考えをもち、グループ・一斉と協働で考えながら、考えを広げ・深めていくようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">◆思考・判断・表現 (ノート) B 基準 願いが実現するまでのしくみについて、これまでの経験をもとに予想して考えることができている。</p> | <p>タブレットPC</p> <p>ノート</p> <p>電子黒板 実物投影機</p> |

| | | | |
|-------------|---|---|--|
| | <p>(C)歴史でも学んだけど政治は議会で決まってくるのだと思います。</p> <p>(C)費用内訳のグラフにあるように、国と県も関わっていると思います。</p> | <p>A基準B基準に加え、根拠を示しながら自分の考えを書いている。</p> <p>〈B基準に達していない児童への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に言葉掛けを行い、関わりのある機関のキーワードを想起させて、図解表現の例を示しながら考えさせる。 | |
| <p>終末5分</p> | <p>4 学習のまとめをして、次時の学習の見通しを持つ。</p> | <p>○今日の学習で予想した考えをもとに、調べる対象を絞り込ませて、追究していく計画を持つことができるようにまとめ、次時への意欲を高めるようにする。</p> | |